

この度、復活『同窓会』としての三代目の会長に就任致しました。二期生(昭和三十年卒)の金野です。昨年十一月八日の同窓会・総会において承認され、二代目村上理事長の後任として任命されました。



会長 金野 和彦 (二期生)

## 会長就任にあたつて

前任村上義雄理事長は、本人のご意向により、昨年秋に開催された第二十一回総会を最後に理事長職を退任されました。後任には現在まで副理事長として実務をお願いしておりました金野和彦氏が会長(初代・二代まで「理事長」の名称)に着任することになりました。||



## 第29号

発行所

〒157 東京都世田谷区成城

1-13-1

武藏工業大学付属中・高等学校内

電話 03-3416-4161

発行責任者 金野和彦

編集責任者 清水茂

## 新名簿発行(予定) お知らせとお願い

1998年(平成10年)版「会員名簿」を発行するため、本年度後期より事務局において準備を進めて行きます。

については当同窓会報『柏』紙面、並びにD・M郵送等による不明者の搜索・会員の住所或いは職場の変更などを調査して行きたいと考えております。

何卒、今後発行の『柏』を注意してご覧になり更に充実された『名簿』となるよう皆様のご協力をお願い申し上げます。

同窓会事務局  
名簿発行準備(委)

例えではありませんが四十二年の年月が経過しようとしております。と言うことは我が母校も四十六年の歴史を経てきたことになります。二〇〇一年には「創立五十年」という記念すべき年となる訳です。何気なく過ぎてきた四十六年を振り返つてみると、終戦後復興途上の日本には、学校の少ない時代でしたが何とか武藏工大附属高校(当時は中学部は有りませんでした)に入学でき、無事卒業し大学へ入学することができました。当時は尾山台の木造校舎でしたが、現在では成城の街に鉄筋コンクリート製の立派なものが建ち、毎年二七〇~二八〇名の卒業生を送り出しております。昨年の卒業

生で既に一万名を超える数となつております。更にそれぞれの分野にてご活躍されているニュースを聞くつけ、OBの一人として誇りに思っております。本会も年々活気を滲びてきており、この中からも政界・財界の皆様の「総会」(毎年十一月開催)への出席をお願いする次第です。昨年に引き続き年明け早々から暗いニュースばかりですが、我々の同窓会としてはこの暗い世相に負けない様、事務局を中心として各理事ともども張切っていますので、皆様方のご理解・ご協力を重ねてお願いする次第です。

## 第21回 総会報告

### ▶平成7年度活動報告(平成7年10月1日～平成8年9月30日)

- 平成7.11.10 第20回総会 於 東急ゴールデンホール  
 第1～5号議案 すべて承認されました。
- 懇親会 於 東急ゴールデンホール
- 12.12 第1回 理事会(於 柏クラブ)  
 1)総会、懇親会報告、提示意見検討  
 2)『21回総会』開催規模、会場スペース検討  
 3)年間活動計画確認  
 4)年会費、入会金の値上げについて
- 平成8.1.22 第1回 編集委員会  
 1)『柏』27号 編集内容検討および確認
- 2.2 第2回 理事会(於 柏クラブ)  
 1)学校名変更についての対応検討
- 2.3 母校訪問 校長、事務長と学校名変更について対談 阿部事務局長
- 3.1 母校(高校)卒業式 村上理事長出席
- 3.16 『柏』27号発送完了
- 5.10～12 母校体育祭
- 5.17 第3回 理事会(於 柏クラブ)  
 1)卒業式、体育祭報告  
 2)武藏工業会岡村副理事長を招待 工業会の学校名変更についての対応を講演  
 3)『柏苑祭』参加の検討
- 6.21 第1回 柏苑祭小委員会  
 1)展示内容検討
- 第2回 『柏』編集委員会  
 1)『柏』28号 編集内容検討および確認
- 7.3 第1回 武藏クラシック小委員会  
 1)武藏クラシック開催内容検討
- 7.12 第1回 小委員会  
 1)各小委員会報告 検討および承認  
 2)会費値上げの方向性検討
- 7.21 第5回武藏クラシックゴルフ大会 於 佐野ゴルフクラブ
- 8.22 『柏』原稿用対談 村上理事長、今野副理事長、阿部事務局長
- 9.10 第4回 理事会  
 1)武藏クラシック開催結果、その他報告  
 2)総会、懇親会開催内容決定  
 3)新役員選考について  
 4)役員名称変更について(規約改訂)
- 9.25 『柏』28号 発送開始
- 9.30 第2回 柏苑祭小委員会開催
- 10.5・6 柏苑祭 同窓会として展示に参加
- 10.5 第5回 理事会 第21回総会提出議案検討
- 第6回 理事会 第21回総会提出議案検討、その他



辞任のあいさをする  
前村上理事長

### ▶平成7年度決算報告(平成7年10月1日～平成8年9月30日)

科 目	予算額	決算額	内 容
入会金	560,000	544,000	43期生 261名 その他 11名
年会費	1,800,000	1,526,000	43期生 261名 その他 502名
引継金	3,430,831	3,439,831	
雑収入	40,000	50,667	預金利息、寄付金
合 計	5,830,831	5,551,498	
科 目	予算額	決算額	内 容
会議費	70,000	117,130	理事会 5回
総会費	400,000	564,612	総会援助金
『柏』制作費	50,000	38,074	編集委員会 2回、座談会 1回、その他
通信費	1,350,000	981,425	柏26号発送費 347,256円

印 刷 費	750,000	319,737	柏27号発送費 588,879円 柏28号発送費は次期決算となります。
發送アルバイト費	300,000	238,400	その他 45,290円
事 務 費	50,000	46,321	柏27号 193,160円
同窓会賞費	50,000	50,000	規約 600部 84,020円
小委員会費	50,000	22,140	その他 42,557円
名簿整備費	50,000	50,000	柏26,27号発送
柏苑祭費	50,000	43,744	事務用品費
予 備 費	50,000	13,000	テレホンカード
繰 越 金	2,267,831	3,066,915	小委員会 3回
合 計	5,890,831	5,551,498	名簿登録、修正費
<b>&lt;繰越金内訳&gt;</b>			副理事長見舞い金
			(前年比 363,916円)
普通預金口座残高			65,577円
定期預金口座残高			2,365,533円
郵便振替口座残高			50,768円
現 金			820,216円
合 計			3,302,094円

上記のとおり平成7年度の会計報告をいたします。

平成8年11月8日 会計 上島正義印  
会計 今井章久印

上記、会計内容を監査の結果、正しく表示掲載されていることを認めます。

平成8年11月8日 会計監査 秋山知康印  
会計監査 今村恒雄印

## ▶1996年度予算(1996年10月1日～1997年9月30日)

<収入の部>			
科 目	予算額	内 容	
入 会 金	560,000	44期生 260名	その他 20名
年 会 費	1,600,000	44期生 260名	その他 540名
引 繙 金	3,066,915	前期より	
雑 収 入	14,000	預金利息	
合 計	5,240,915		
<支出の部>			
科 目	予算額	内 容	
会 議 費	90,000	理事会 6回	
総 会 費	500,000	総会援助金	
『柏』制作費	50,000	『柏』編集委員会 4回、取材費	
通 信 費	1,600,000	柏28号(5100×90)×0.91 (3100×80)×0.91	464,182円 225,680円
		柏29号(3300×80)×0.91	240,240円
		柏30号(3300×80+5000×90)×0.91	649,740円
		その他	20,158円
印 刷 費	1,100,000	柏28,29,30号 各9000部	760,000円
		封筒(2種類、各5000)	160,000円
		振り込み用紙 10000部	130,000円
		その他	50,000円
發送アルバイト費	300,000	柏28,29,30号発送	
事 務 費	50,000	事務用品	
同窓会賞費	50,000	体育祭同窓会賞	
小委員会費	50,000	親睦企画委員会、その他小委員会	
名簿整備費	50,000	名簿整備アルバイト費	
柏苑祭費	50,000	柏苑祭参加準備、参加経費	
予 備 費	50,000		
繰 越 金	1,300,915	繰越金、未収引当金	
合 計	5,240,915		

## 総会・懇親会報告

同窓会事務局長 阿部俊夫

総会では理事会で準備いたしました五つの議案すべてが満場一致で可決されました。詳細については割愛いたしますが、決算・予算については本誌を参照ください。

今回の総会で在任十六年の村上理事長が退任されました。新役員の選出は日常活動の拡大に伴い事務局体制の強化に重点を置いた内容としました。役職名も『理事長から会長』に変更されました。同窓会三代目の責任者(会長)には二期生の金野氏が就任されました。

懇親会の会場は前回同様ゴルデンホールの一番大きな部屋を使用。新任の金野会長が少々硬くなつた様子で就任と開会の挨拶を行い、開会されました。会費を三千円に据え置いているため、初めて



参加された方

は料理の質・量とアルコール類の豊富さに驚かれていました。今回は十六期生が同期会を同時開催されました。

卒業以来二十年ぶりに顔を合わせせる方もいらっしゃいました。

ただいま十六期生が同時に盛り上がりいただけた事と思います。

懇親会の最後は毎年ゲームを実施しておりますが、今回は大抽選会を行いました。景品の総点数は二十五点、最高額のものはCDラジカセでした。

八年ぶりに顔を合わせせる方もいらっしゃいました。

ただいま



## ◆十六期同期会報告 同窓会に初参加して

中村直人(十六期生)

仕事を中途で抜け出して、四十分ほど遅刻して会場に到着。総会の最中ではありましたがあつたが、会場にもぐり込む。一瞬、場違いの世界に入った感じがしましたたけれど、すぐ握手をする。

まもなく懇親会が始まり、十六期生のテーブルが設けられている所に行ってみると。おお、いるではないですか、なつかしい顔が。不思議なことに、二十七年ぶりに会う連中の名前が、顔を見た瞬間にポンポンと出てくる。何といっても、中高六年間ムサ校に通いましたものね。

アルコールが入り、話がはずむ中、社会の中山茂夫先生、国語の須藤豊彦先生が私達のテーブルにいらして、歓談。両先生ともお変わりなく、お元気です。当日の宝くじの抽選会などもあり、会場盛り上がつたところで、お開きとなる。その後、中山先生を拉致し、二次会の店に直行。すっかり昔に戻り、飲んで喋つてカラオ

◆ 本年度の総会・懇親会は  
十一月十四日(金)  
午後六時三〇分より(遅刻可)  
会場 東急ゴールデンホール(渋谷)





今まで同窓会は、自分とは無縁と思つておりましたが、今回初めて出席させて頂き、旧交を温める楽しさを体験できました。今回出席されなかつた方も、次回是非出席されてみてはいかがでしょうか。昔の仲間との、また新たな交流も、人生に彩りを添えるものではないでしょうか。

ケと、皆で愉快に渋谷の夜を過ごしました。ところで、今回の招待状は、梅田君以下の裏方さん達が、皆で手分けして、自腹で十六期生全員に出したそうです。本当に、有難うございました。おかげで十六期生は、全部で十三名出席し、盛況のほうでした。

今まで同窓会は、自分とは無縁と思つておりましたが、今回初めて出席させて頂き、旧交を温める楽しさを体験できました。今回出席されなかつた方も、次回是非出席されてみてはいかがでしょうか。昔の仲間との、また新たな交流も、人生に彩りを添えるものではないでしょうか。

## 二 決算について

本会の決算内容は九十五年度から赤字状況になっています。大きな原因是『柏』発行に伴う通信費の高騰と総会・懇親会の経費負担にあります。理事会では一般会計支出の削減に努力し、これまで圧縮しています。『柏』発行についても現行の年二回から一回に削減することも検討いたしました。しかし、皆さんとの交流の要である『柏』は是非とも二回態勢で継続したいとの意見が圧倒的であり、やむなく年会費の値上げをお願いすることとなりました。本件については、一年前に本誌で公示しておりましたが、本年四月以

き成以降、現行の組織で理事会を運営してまいりましたが、理事会組織の改革を行い、各委員会の責任者を事務局次長とし、責任態勢の明確化と、議案処理の効率化を目指すことといたしました。この結果、今回の総会で新役員態勢についてご検討いただき、承認されました。

## 三 ホームページの開設について

パソコン（特に通信）の広がりにより、理事会の推定で卒業生の半分近くがパソコンを保有し、その半数が通信を行っていると考えております。現状では皆様と同窓会の交流は『柏』が中心ですが、これは前記のように通信費の問題で発行回数、ページ数に限界があり、また理事側からの情報の一方通行となっています。これに対してもホームページ開設の場合は日常の情報提供（例・学校行事の連絡、同期会・OB会の開催通知等）と共に、皆様の意見を簡単に受け取ることができ、情報の双方向化が可能になると考えられます。理事会としてはホームページ開設に向けて検討に入り、できるだけ早い機会に開設を目指してまいります。

グループで、会社で、ホームページを開設されている方、利用されている方、あなたのホームページに関してのメリット、デメリットをお知らせください。ただし、今回は郵送で学校の小野寺先生までお願いします。学校の住所は封筒に記載されています。

一 理事会役員態勢について  
同窓会も結成二十年を越え、組織の体裁、名簿の整備等は整ってきておりますが、会員の皆

## 理事會報告

事務局長 阿部俊夫

第38回「柏苑祭」に参加

昨秋の十月五日より一日間、例年通り「柏苑祭」が開かれました。今回、同窓会として二度目の参加となり会場は「サロン風」に仕立て、同窓生の来場をコーヒーの香りとともにお待ちいたしました。公立小中学校では受験校の雰囲気を学園祭などで直に見学してくるようにとの指導もあつたようだ、当日は親子連れで来校され、一時、同窓会各場は進学相談室の様相を呈する程となり、あらためて受験生の親御さん方のご苦労を垣間見た気がいたしました。

又、会報「柏」をご覧になり来場下さった同窓生の方々約四、五十名の方に記帳していただき、前々号「柏」二十七号巻頭記事「むさこが消える!」との校名変更についてのアンケートに協力していただきました。

結果九割程の方が校名変更に「反対」とのご意見をお持ちになられていることが解りました。

ご来場下さった方々には、同窓会が用意しておいた昔懐かしい「駄菓子」数々をプレゼントし、楽しい二日間の交流を終了しました。次回には更なる企画を用意し皆様のご来校を心よりお待ち致しております。

事務局柏苑祭担当

## 一通の手紙

前略 8日の同窓会総会も無事、楽しく終えられたことと存じます。

いつぞやは「柏」(第28号)を贈っていただきながら、お礼も申し上げずに今日に至ってしまいました。昔からの筆不精はなかなか治りません。失礼しました。

この同窓会誌を見て、高校37期の某卒業生が、小生宛に感謝の手紙を寄せてくれました。あとで直接本人に電話でうかがったところ、武藏工大の大学院で勉強中、中学時代に苦しんだアトピーが再発し、その難病と闘い、かつ学習を深めるなかで、高校時代に小生の社会科の授業のなかで「毎日のように」(本人自身の文面)取り上げられ、かつ顕彰された田中正造(足尾鉱山鉱毒事件の義人)のことが思い出されたとのことです。そして、今薬害問題が大きく取り上げられるなかで自分も田中正造のように、「人のために自分をなげうって行動できるようになりたい…大切なことを教えていただき本当に有難うございました」と、かえって小生が赤面するほどのお褒めにあづかった次第です。

多くの生徒諸君に接し、疎でもない足跡しか残してこなかった小生ですが、1人でもこのように感謝されると、何だか嬉しくなって、あまり教師には向いていなかったのにも拘らず、ほんとに救われた気分です。

なお、「柏」の「編集後記」にある中沢宏さんには1年前の柏苑祭でお世話になりました。住所が分からないので直接お札を申し上げられません。よろしくお伝え下さい。

1996年11月

福与晃

くお詫びくご当人の許可なく掲載させていただいたこと深くお詫び申し上げます。心の温まる一通のお手紙を頂戴し、編集部として、心を打されました。本当に有難うございました。

も在籍された  
部に短期間で  
方はぜひお集  
まりください。  
△総合幹事△十六期 昭和四十四年卒業(当時顧問)  
国語山本先生)岡田光雄

TEL ○四三三一六八一三四〇六  
府中市分梅町三一三十四一四  
本日以降一  
三期ごとに連  
絡係をお願い  
して先輩から  
後輩へと出席の確認連絡網を作りたいと思  
ます。



TEL ○四三三一六八一三四〇六  
府中市分梅町三一三十四一四

お酒は“百葉の長”と言われます  
が一方では“気狂い水”とも言われ  
ました。

日本以外の国では“酒(この場合  
ワイン)は会話の油(潤滑油)である”  
又“太陽である”とも言っています。  
又、“酒を飲むと真実をいう”とい  
う言葉もあるそうです。

日本酒というものは神事と一体で、  
大嘗祭でも必ずお酒が付きもので、  
お祈りをして神様にお酒を手向け  
そのお酒を下げる直会というこ  
とをします。直会の席というのは、  
神に手向けたお酒を「神様と共に  
飲む」ということです。

日本酒というものは神事と一体で、  
大嘗祭でも必ずお酒が付きもので、  
お祈りをして神様にお酒を手向け  
そのお酒を下げる直会というこ  
とをします。直会の席というのは、  
神に手向けたお酒を「神様と共に  
飲む」ということです。

## 文化としての「日本酒」 さらに吟醸酒とは／

の目的として造られていました。  
さらに鑑評会に出品され、何らか  
の評価を受けた後は、市販する酒  
の中に混ぜてしまっていました。

それであつたればこそ「幻の酒」と  
呼ばれるのに相応しい酒であつた  
のかもしれません。今から十数年  
程前までは「酒

造りの酒識らず」

酒売りの酒知  
らずなどと言  
つて酒に関わる  
人々は自からを  
戒めた時代もあ  
りました。

吟醸酒造りに  
は何と言つても  
優れた杜氏や藏  
人に恵まれるこ  
とから始まり、  
好適米の選択・  
精米歩合、それ

「味」と「香り」、更に酵母が生き  
たまま体内に入る健康・美容酒と  
して復権を果たした日本酒は、私  
たちにとつても「文化」を語る上に  
もうれしい事です。くれぐれも飲  
み過ぎのないように！

【吟醸酒】考——かつて吟醸酒を四  
国地方などでは、日本酒のことを  
一般的に「吟醸」と呼んでいたらし  
い。昨今の吟醸酒のブームを「存  
知だと思いますが、かつて吟醸酒  
は市販されることのない「日本酒」  
でありました。

吟醸酒はそれぞれの蔵元にとつ  
て醸造技術の保持と向上とを唯一  
の年気候なども微妙に影響を及  
ぼします。「吟醸酒は偶然の所産

である」と言つてもよいのかも知  
れません。

酒税が変り、生絞りのお酒が販  
売できるようになって久しい。勿  
論、以前から絞り立ての酒は販売  
(特級・一級・二級など)に基づいて  
アルコール度を調整したもので、  
現在のものは販売管理(発酵する)  
は大変だそうですが、無調整のそ  
のままの酒だそつです。藏元で一  
度飲まれることをおすめします。

今日では吟醸造り、吟醸酒、大  
吟醸、中吟醸などと区別され、一  
時の三増酒の上に本醸造、その上  
に純米酒、更に吟醸酒としてその  
ランクは定着しました。(つづく)

※ 「味」と「香り」、更に酵母が生き  
たまま体内に入る健康・美容酒と  
して復権を果たした日本酒は、私  
たちにとつても「文化」を語る上に  
もうれしい事です。くれぐれも飲  
み過ぎのないように！



### 日本酒(清酒)が でくるまで

酒をつくるための米は、  
わたくしが食べる米よ  
りも、ずっと丹念に精白さ  
れます。

精白された米は、洗米さ  
れ、適當の水を吸わせて、蒸  
飯と呼ばれる蒸す装置で蒸  
されあと冷却されます。

30度C前後に冷された蒸  
米に麹菌を散布して、麹が  
つくられ、この麹と蒸米と  
で、純粋な清酒酵母であ  
る酒母がつくられます。

そして今度は、発酵タン  
クの中へ、先ほどの酒母と  
麹と、冷却された蒸し米と  
それに水を加えて、約五

日間、十五度C前後の温度  
を保ちながら発酵させます。  
これがもろみ発酵です。

発酵が完了したもろみは、  
新酒と粕にしぼりわけられ  
新酒は加熱殺菌したあと、  
貯蔵タンクに入れられ、約

半年調熟されます。

その後、ブレンド、殺菌  
がなされ、ボトリングさ  
れ、わたくしが前に姿  
を表わすのです。



酒をつくるための米は、  
わたくしが食べる米よ  
りも、ずっと丹念に精白さ  
れます。

精白された米は、洗米さ  
れ、適當の水を吸わせて、蒸  
飯と呼ばれる蒸す装置で蒸  
されあと冷却されます。

30度C前後に冷された蒸  
米に麹菌を散布して、麹が  
つくられ、この麹と蒸米と  
で、純粋な清酒酵母であ  
る酒母がつくられます。

そして今度は、発酵タン  
クの中へ、先ほどの酒母と  
麹と、冷却された蒸し米と  
それに水を加えて、約五

日間、十五度C前後の温度  
を保ちながら発酵させます。  
これがもろみ発酵です。

発酵が完了したもろみは、  
新酒と粕にしぼりわけられ  
新酒は加熱殺菌したあと、  
貯蔵タンクに入れられ、約

半年調熟されます。

その後、ブレンド、殺菌  
がなされ、ボトリングさ  
れ、わたくしが前に姿  
を表わすのです。



①卒業年度 ②最終学年時の担任 ③クラブ活動等です。

### 加藤孝男



①十六期生(昭和四十四年三月卒)  
②小泉忠男先生  
③物理部

大学受験失敗を契機に事務系サラリーマンへ方向転換することとした。

専攻も経済学部を選択、卒業後は運送会社に就職した。

会社では経理部門を担当させてもらって勤続

二十三年になるが、業績管理や経営計画の策定はまだしも、倉庫・ターミナル建設など設備計画への参画、さらには情報処理への対応まで多岐にわたる専門的な業務への取り組みに対し、関係先から「本当に事務屋さん」と不思議がられることも少なくない。

今にして思えば、もともと事務屋志向ではなかったことで部門外のこと、さほど抵抗感感じないでこなしていたからなのだろう。

現在私は妻と男三人の五人家族で四十六歳のいわゆる「中年」真っただ中にあるのであるが、中年と言う響きにどこなく淋しさを感じている。

受験への失敗という人生の転機に、様々な助言をしてくれた物理部の三品隆君や菅原敏三君とは、いまでもたまに会っている。

中間・中立・中古・中盤・中火・中庸……どうしても、曖昧で煮え切らない感じ、貧相で弱々しい感じがつきまとった。

中年というのは、いうまでもなく青年と老年の間であるのだから壯年であるはずなのだが、あえて中年といわれる。

いくつになつても情熱は失いたくないと思つていて。

こんな曲がヒットしていた。

D) 「揺れる想い、体じゅう感じて……」(Z A R)

こう、歌つべきは中年であり、この歌に想いが揺れることこそがまさに中年なのだと思う。短くはない中年をのっぺらぼうなものにしたくなかったこと。

何か楽しいことをやつてみたい。できれば妻と一緒にできることがいい。

学生時代から道楽はいくつかあつたが、近頃はバイクにもっぱら情熱を注いでいる。

青年時代に実現することができなかつたこともある。

家族から見れば「年甲斐もなく」なのだろうが、そんな想いを妻は何も論評しない。

それをいいことに、今年は大型バイクを入手し「中年ライダー」になろうと思つていて。

尾山台はその後の武藏工業大学に通つたことで「大学のキャンパス」なのですが、一年間中

彼らも多忙ながら、それぞれに中年を楽しんでいる。

また、付属中学時代からの級友だった山口高司君には高校二年生の長男がお世話になっている。

愚息にしてみれば偶然のめぐり合わせとはいえ「我が師」が親父の級友であることに戸惑いを隠せない様子であり、山口先生にとつてもいささか迷惑な話であろう。

こういうことにも、のっぺらぼうではない中年を感じる。

卒業してからあまり想い出すことはなかつたが、ひさしぶりに級友たちの「懐かしい顔」が浮かんできた。

きっと、皆さんもそれぞれの中年を楽しんでいることだろう。

### 小林英世



①昭和四十四年三月卒業(と

思いますか?)

②門先生(失礼ながら、名前

は忘れました。高校の三年間連続して担任でしたが、卒業のときその事を申し上げたら「そうだつたかナーレ」と言われショックを受けたのをいまだに覚えています。

③新聞委員会

学生として通つたことからフト、黒い詰め襟の学生服姿を思い出しました。もう、三十数年昔のことです。

中二の時に成城に移転。真新しい校舎での学園生活の前には尾山台の記憶は急激に色あせてゆきました。通学路の映画俳優石原裕次郎の家、見下ろせる東宝撮影所等、成城の町は当時も高级住宅街でしたが、町自体はまだ若く、活気があつたような気がします。

中学・高校の六年間は学校新聞「MUSAS HI LIFE」の発行に明け暮れています。年間、数回ですが、一般紙と同じ大きさのブランケット判。毎回何百行も、今思うとよく書いたものです。

編集会議、取材、部室に閉じこもり原稿を書きまくり、商店街を周り広告を取る。こんな生活でした。

## — 第6回武蔵クラシック開催のご案内 —

開催日	平成9年7月20日(祝日)
会場	未定(山梨県又は栃木県内)
プレー代	各自負担(未定)
会費	3,000円(懇親会費は別途)
参加人員	定員20名(5組)予定
ゲーム方式	新ペリア方式



上記要領で実施の予定です。前回は門(教頭)先生、前島(保体)先生ほか3名の先生が参加していただきました。今回も同窓生の皆様の奮ってのご参加をお願いします。

《申し込み要領》 官制ハガキに、①氏名 ②卒業年度 ③連絡先  
(住所、電話番号) ④H・C・Pを記入のうえ、  
実行委員、岡田(16期生)まで、又はFAXにて  
も受付けております。受領後詳細をご連絡さし  
上げます。

●郵送先 〒183 府中市分梅町 3-34-4 岡田光雄(16期)  
TEL 0423-68-3406 岡田光雄(16期)  
FAX 03-3220-7945 梅田博夫(16期)

原稿募集

編集委員会では、同窓生の皆様の近況・随筆等幅広く記事を募集致しております。  
問合せ（14期）清水まで  
TEL.03-3595-0058 FAX.03-3595-0021

三十年前とはまた趣も変わつてきました。伝統も私たちの時代から見るとだいぶ厚みを増しており、若い在校生から見れば、我々はもう歴史の一部だからと変な理由をくつつけ、校門から入つたことはありません。

によると、我が家の近所からも「付属」に通つて  
いる方がおり、評判も良ろしいとのことです。  
我が息子、「付属」の歴史創りにご縁が有るか  
どうか判りません。が、もしあれば、その時は  
ノスタルジアを感じるか、子供の将来を考える  
か……校内をゆっくりと見てまわりたいと思いま  
す。

## 本誌《掲載広告募集》のお知らせ

対象：母校卒業生の所属する企業・団体並びに個人  
掲載枠：一広告枠《最大》1/2ページ(1ページ4段組の場合における)=寸法14.5×11.0cm=  
一広告枠《最小》1/2段(1ページ3段組の場合における)=寸法7×7cm=  
\*なお、会報発行年2回2月・9月各々について広告のページは2ページ以内とさせていただきます  
掲載予定：次回「柏」30号(9月末発行)より  
今回締切・平成9年7月末  
発行部数：8,500部(平成9年2月現在)  
料金：上記一広告掲載枠  
最大1/2ページ(寸法14.5cm×11.0cm) 75,000円  
最小1/2段(寸法7cm×7cm) 25,000円を基準(予定)

その他：原稿は「完全版下」を原則とし、掲載については、理事会において簡単な審査をさせていただきます

■詳細は同窓会事務局 阿部(14期)  
FAX 03-3732-0348 直接ご連絡下さい

## 武蔵工大に「環境情報学部」新設 —平成九年四月より開學—

武蔵工大では、本年四月より新設学部として環境情報学部を創設した。

現代社会が抱える諸問題。特に産業経済成長とともに生じる環境問題・エネルギー問題等々に地球規模で考えてゆくことが新しい時代が要求しているものである。と同時に物質文明社会の驕りを反省する時代でもある。

理系と文系の壁、学問の枠組みを超える”新しい時代には、より広い視野が必要だ”との理念により前記諸問題を解決してゆくとともに学部は多彩な分野におよぶ斬新なカリキュラムを採用し新しい時代の学問を追求する。キヤンパスは港北ニュータウン内・市営地下鉄「中川駅」徒歩五分。環境に恵まれた一角である。

細胞と宇宙。小宇宙と大宇宙。宇宙の法則に従うとの世界観が地球とその恩恵にあずかる地球上をも救うのではないでしようか。素晴らしい発想の素晴らしい「学部」となるよう期待します。更に科学技術の急速な発展とともに生じる工学領域の拡大に対応するため、従来の学科を整備・拡大し、機械システム工学科・電子情報工学科・エネルギー基礎工学科の開設も併せて行うとのことです。資料提供(一部)・中宗根(十七期生)

## 編集後記

第二十五回総会も昨秋満席となり終了。平成八年度活動へと新会長以下事務局一同、会員諸氏のご協力、ご理解のもと、一丸となって突入いたしました。同窓会報「柏」も会員皆様方のご支援(シユレッダーリングの方を除き)にて次回は第三十号を迎えます。順調に発行を継続することができ感謝です。

しかし、内容が余りにも「固すぎる」とのご批判も寒風に乗りかすかに耳に届きます。皆様に親しまれなければ、何が会報だ。偉そうに!との手厳しいご意見も左の耳から入る昨今です。

経済停滞のち下降。原因(結果)?とも見られる株安・不良債権債務・円安等(+)要因は数えきれません。(+)にだけ働く磁力が日本列島をぐるつと一巻き。どつかの本ではありませんが、「島内革命」を施こし、(+)要因を半分程造らねばとも考えます。が一生懸命(+)にしようとすれば国际的に叩かれる。どつか変ダナ!と。正直なお話です。リストラに悩む一部の諸兄には「同窓会」に顔を出して交流を深めて見ることも一つの方法。事務局は各種エネルギーの宝庫(手前味噌?)。異業種・異文化交流、言いたい放題飲み放題。優しく受け止め厳しく指摘。上下関係ナシの同窓生では有りませんか。これが許されるのも!今号は、編集終て十六期の「特集」だったかな?違います。断じて。

どうか変だな?を掘り下げた投稿等、或は漫画(一コマ・四コマ不問)描ける方ご協力下さい。随時受け付けております。

編集責任者 清水(十四期生)

FAX ○三(三五九五)○〇一